

間伐材を用いたガードフェンス（石狩森林管理署）

事業名 : 小樽海岸治山工事
施工箇所 : 北海道小樽市銭函 石狩森林管理署
工事概要 : 木製ガードフェンス 460m 使用樹種 カラマツ 木材使用量 33.3m³

当該施工地は、都市近郊の海岸防風保安林であり、防風林に沿って道道が走っており交通量が多くまた、入林者も多いため保安林境界に木製ガードフェンスを設置し、保安林の保護と景観との調和及び間伐材の利用促進を図った。

【 木製ガードフェンス 】



間伐材を用いた木製護岸工（胆振東部森林管理署）

事業名 :ポロト地区治山工事
施工箇所 :北海道白老郡白老町 胆振東部森林管理署
工事概要 :木製護岸工 29.4m 使用樹種 カラマツ 木材使用量 14.5m³

当該施工地は、ポロト自然休養林として遊歩道やキャンプ場などの各施設があり、多くの町民や地域住民が訪れることから、景観に配慮した防災施設となる木製護岸工を山腹工の基礎工として設置し、自然景観の調和と間伐材の利用促進を図った。

【 1号 木製護岸工 】



【 2号 木製護岸工 】



間伐材を用いた木製床固工及び丸太積土留工（石狩森林管理署）

事業名 : 紋別沢治山工事
施工箇所 : 北海道千歳市 石狩森林管理署
工事概要 : 木製床固工 2基66. m³ 使用樹種 トドマツ
: 丸太積土留工83m 木材使用量 72. 8m³

当該施工地は、支笏洞爺国立公園の近郊に位置し奥地保安林保全対策モデル林事業地である。

台風等の強風で被害のあった現地発生風倒木を治山事業資材として活用し、人力による簡易で効果的な木製土留工等を設置し、奥地保安林の保全と木材の有効利用を図った。

【 木製床固工 】



【 丸太積土留工 】



間伐材を用いた木製防風垣（日高南部森林管理署）

事業名 : えりも海岸防災林造成事業
施工箇所 : 北海道 幌泉郡えりも町 日高南部森林管理署
工事概要 : 木製防風垣 3,670m 使用樹種 カラマツ
: 木材使用量 111.6m³

当該施工地は、日高山脈国定公園内であり、飛砂防備保安林に指定されている。えりも岬の各種施設や主産業である漁業を守るために樹木を植栽している。この植栽した樹木等の保護育成を目的にカラマツ製材を格子状に配置し、景観との調和及び間伐材の利用促進を図った。

【 木製防風垣 】



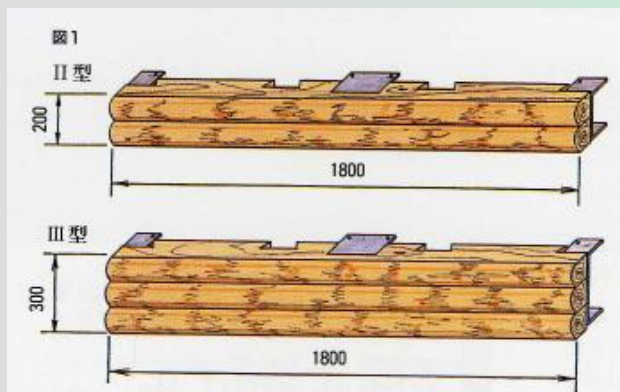
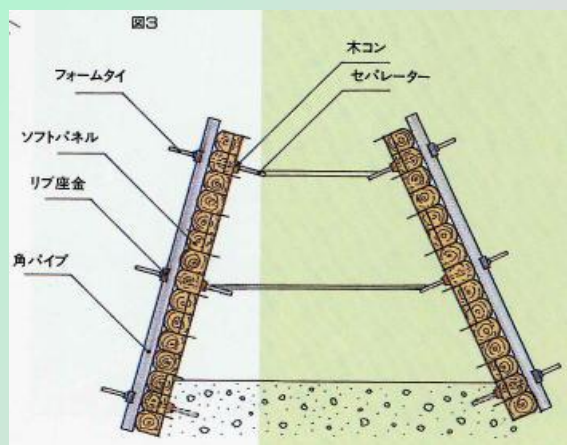
カラマツ間伐材を用いた化粧型枠（上川中部森林管理署）

事業名 : 地域防災対策総合治山事業
施工箇所 : 北海道上川郡美瑛町白金 上川中部森林管理署
工事概要 : 残置型枠(丸太式)面積 174m² 使用樹種 カラマツ
木材使用量 42.5m³

当該事業地は、年間80万人に及ぶ観光客で賑わう白金温泉街の上部に位置する。十勝岳は過去に7回噴火しており、大正15年5月の噴火時に大泥流が発生し、144名もの尊い命を奪う大災害となった。大正15年の火山泥流が大規模となった原因は、流水による地表面削剥であった。

この削剥を防止するために床固工を主体に治山施設の配置を計画した。

この地域は大雪山国立公園内にあることから、治山施設を自然景観と調和させることを目的としてこの工法を採用したものである。なお、この工法は間伐材を型枠として組み上げ、その中にコンクリートを打ち込み、ダム本体と型枠を一体化したものである。



【 全景 】



現地発生材を用いた護岸工（宗谷森林管理署）

事業名 : 大空沢治山工事
施工箇所 : 北海道利尻郡利尻町仙法志 宗谷森林管理署
工事概要 : 護岸工 L=360m

当該事業地は、利尻島の南部に位置し、急峻な円錐火山で、上部には大規模な荒廃地が多数あり、過去の土砂氾濫の繰り返しにより典型的な扇状地を形成し、豪雨の際に土石流が発生し、主産業である漁業や道路に被害を与えてきた。

このことから利尻町、漁業協同組合から早期の復旧対策が強く要望され、復旧治山工事を実施している。

工事の施工にあたっては、利尻礼文サロベツ国立公園内にあることから治山施設を自然景観と調和させる必要があることから「現地発生材の活用等」の工法を採用したものである。

溪床内に異常に堆積した土砂を排土し、その土砂を護岸工の中詰材として活用することにより、資源の有効利用と、景観を維持している。

【 施工直後の状況 】



【 出水後の状況 】



環境に配慮した木製ダム工（網走西部森林管理署西紋別支署）

事業名 : 二十四線沢治山工事
施工箇所 : 北海道紋別郡滝上町 網走西部森林管理署西紋別支署
工事概要 : 使用樹種 カラマツ 木材使用量 52.5m³

当該事業地は、比較的水量が少ない小溪流であり、環境保全の観点から、木製ダムを施工した。周辺景観との調和及び間伐材の利用促進を図った。

【下流より撮影】



環境に配慮した木製フェンス工（網走西部森林管理署西紋別支署）

事業名 : 紋別海岸治山工事
施工箇所 : 北海道紋別市 網走西部森林管理署西紋別支署
工事概要 : 使用樹種 カラマツ 木材使用量 4.1m³

当事業地は、維持管理用歩道からの転落防止措置として間伐材による木製フェンスを設置し、周辺景観との調和及び間伐材の利用促進を図った。

木製フェンス工



環境に配慮した木製ダム及び残置式型枠（十勝西部森林管理署）

事業名 : ペンケナイ中の沢(2121林班)治山工事
施工箇所 : 北海道広尾郡大樹町
工事概要 : 木製床固工1基、コンクリート谷止工1基、木製水路工30m
: 使用樹種 カラマツ : 木材使用量 250m³

当該事業地は、木材(カラマツ間伐材)利用した丸太積みの床固工及び残置式型枠によるコンクリート谷止工を実施した。更に既設の床固工に間伐材を貼り付けるなど、景観保全に配慮した。

【 木製ダム(下流側より) 】



【 残置式型枠使用コンクリートダム(下流側より) 】



間伐材を用いた木製歩道工（後志森林管理署）

事業名 : 神仙沼木製歩道改修工事

施工箇所 : 北海道岩内郡共和町前田

工事概要 : 木製歩道工 394m 使用樹種 カラマツ 木材使用量 106.3m³

当該施工地は、神仙沼自然休養林として木製遊歩道が整備されているが、時間の経過に伴い木材の腐朽が進み数カ所で破損が生じたことから、訪れる人々の安全と景観に配慮した木製歩道工を施工（改修）した。

【 木製遊歩道工 】



カラマツ間伐材を用いた化粧型枠（後志森林管理署）

事業名 : 寿都地区(陣屋の沢)治山工事
施工箇所 : 北海道寿都郡寿都町字渡島町
工事概要 : 木製残置型枠 243m² 使用樹種 カラマツ 木材使用量 29.0m³

当該施工地は、国道、民家と隣接していることから、景観に配慮するとともに地場生産される間伐材の利用促進を図った。

【 正面図 】



カラマツ間伐材を用いた土留工（後志森林管理署）

事業名 : 尻別川地区(喜茂別登山道の沢)治山工事
施工箇所 : 北海道虻田郡喜茂別町字比羅岡
工事概要 : ウッドブロック 2箇所145m² 使用樹種 カラマツ
: 木材使用量 26.8m³

当該施工地は、火山性荒廃地における流末処理対策工として施工された浸透池の土留工として施工するとともに地場生産される間伐材の利用促進を図った。

【 全景図 】

